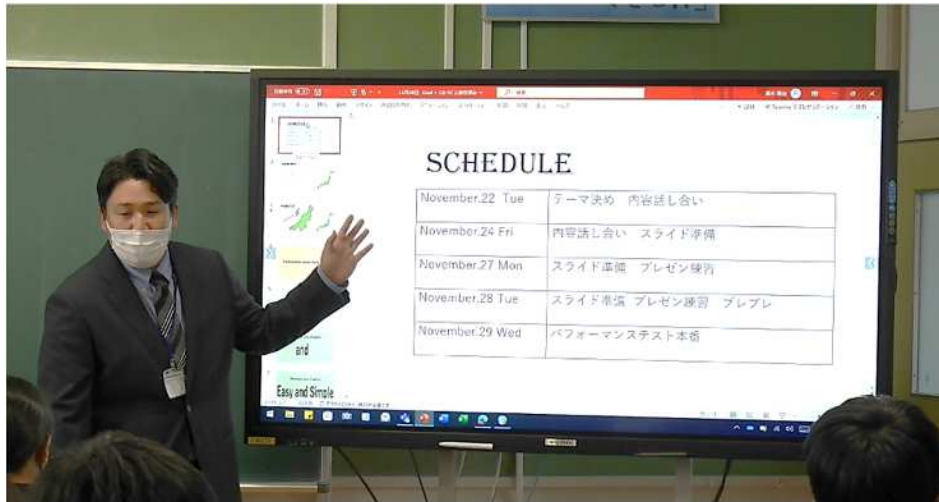


エリアリーダーによる1人1台端末を活用した 授業公開研修



多久市立東原彦舎東部校 エリアリーダー 青木 泰治 教諭

単元名：New Horizon 3 Unit4 Be prepared and work together

ICT活用のポイント

(中学3年 外国語)

- ・ Kahoot! を使ってUnit4の理解度を深める (知識・技能)
- ・ 「防災」をテーマにしたプレゼン形式のパフォーマンステストに向けて、PowerPointを使いグループで協働し資料作りを進める。(思考・判断・表現) (主体的に学習に取り組む態度)

導入

①Unit4に関する内容のクイズに取り組み、前時までの学習内容の復習を行う。

クイズアプリ
(1人1台端末、電子黒板)

②本時のめあてを確認する。

「防災」に関するプレゼンスライドを完成させ、次回のパフォーマンステストに向けて準備をする

展開

③Teamsのチャンネルにアクセスし、各グループのPowerPointファイルを開き協働作業を開始する。

プレゼンテーション機能
(1人1台端末)

- ・ 1つのファイルをメンバー全員で共有して作業し、各メンバーの進捗状況やアイデアの共有を行う。
- ・ プレゼンテーションに必要な英語のキーワードをPowerPointのスライドノートに記入する。
- ・ 教員用PCから各グループのファイルを開き、リアルタイムで支援・助言を行う。

まとめ

④振り返りを行う。
・ 各グループでスライド資料及び話す内容の確認・練習

⑤ウェブ上の抽選アプリを使ってプレゼン発表の順番決めを行う。

抽選アプリ
(電子黒板)



← 「SAGA Eコネクト」サイトではたくさんの事例を紹介しています。
<https://www.saga-high-school.jp/e-connect/>



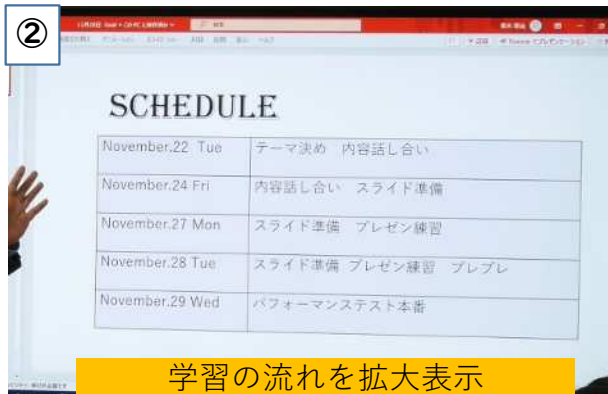
①Unit4に関する内容のクイズに取り組み、
前時までの学習内容の復習を行う。
【クイズアプリ(1人1台端末、電子黒板)】



教 生徒の知識の定着を図るとともに、本時
に対する学習意欲を高めることができる。

教 無料のアプリでスマートフォン等からも
簡単にクイズの準備ができる。

生 楽しみながら前時の復習を行うことが
できる。



②本時のめあてを確認する。
【プレゼンテーション機能(電子黒板)】

教 本時のめあてや学習の流れ(スケジュー
ル)を素早く示すことができる。

生 見通しを持って本時の学習を進めるこ
とができる。



③Teamsのチャンネルにアクセスし、各グルー
プのPowerPointファイルを開き協働作業を開
始する。【プレゼンテーション機能(1人1台端末)】

生 ファイルを共有することでグループ内で
担当を決めて共同編集することができる。

教 各グループのファイルを見ることで、進
捗状況を把握でき、リアルタイムでの支
援・助言を行うことができる。



⑤ウェブ上の抽選アプリを使ってプレゼン発
表の順番決めを行う。【抽選アプリ(電子黒板)】

教 くじなどを作らずに瞬時に順番決めが
できる。

生 順番決めが不正なく公正にできている
ことをみんなで確認できる。

パフォーマンステストに向けて資料を作るために、ICTの利点をうまく生かすことで、グループでの協働学習を活発化させる授業でした。参観した先生方から次のような声が聞かれました。

- ・Kahoot を使うことで、学力が低い子どもでも楽しみながら取り組めると思ったので、これから活用できる場面を探していきたいと思います。
- ・自分の今後の授業に役立つ研修になりました。ぜひ実践してみたいと思います。
- ・ICTを授業に取り入れると、生徒達の順応はとても早いのだと改めて感じました。